

**授業概要**

本講義では、生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を学習する。講師から解説するだけでなく、生涯学習の方法論を体験しながら学習を行う。

**授業計画**

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 第 1 回  | オリエンテーション       |
| 第 2 回  | 今なぜ生涯学習が必要なのか   |
| 第 3 回  | 教育の原理と社会教育      |
| 第 4 回  | 社会教育に関する法令と施策   |
| 第 5 回  | 社会教育行政の意義と役割    |
| 第 6 回  | 生涯学習の方法・形態－個人学習 |
| 第 7 回  | 生涯学習の方法・形態－集団学習 |
| 第 8 回  | 情報からの学習－図書館     |
| 第 9 回  | 「もの」からの学習－博物館   |
| 第 10 回 | 生涯学習施設－公民館      |
| 第 11 回 | 地域の人々の相互学習－NPO  |
| 第 12 回 | 学校教育との連携        |
| 第 13 回 | 情報技術と生涯学習       |
| 第 14 回 | プログラム評価         |
| 第 15 回 | 生涯学習・社会教育指導者の役割 |
| 第 16 回 | まとめ             |

**到達目標**

- ・生涯学習及び社会教育の本質と意義について理解できる。
- ・自分の目指す領域の、生涯学習における位置づけを理解できる。
- ・生涯学習の方法論を企画・実践することができる。

**履修上の注意**

- ・授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いや活動の機会を多く設ける。
- ・他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。
- ・受講者同士の活動については、履修者の人数によって適宜調整を行う。

**予習・復習**

社会教育施設に、一度は訪問・調査を行う時間外学習が必須である。

**評価方法**

授業内レポート 50%、受講態度 50%

**テキスト**

- ・参考書名：新しい時代の生涯学習
- ・著者名：関口 礼子・西岡 正子・鈴木 志元・堀 薫夫・神部 純一・柳田 雅明
- ・出版社名：有斐閣
- ・出版年 (ISBN)：978-4-641-22106-2